

単元まるごと計画「カードを おくろう」（全5時間）

単元のゴール（can-do）：形や色の言い方、ほしいものの伝え方（○○, please.）に慣れ親しみ、作ったカードを This is for you. と言って渡すことに慣れ親しむ。

評価規準 3観点（国研参考資料の文型で作成）

知識・技能	形・色の言い方と、What do you want? / ○○, please. のやり取りに慣れ親しんでいる。
思考・判断・表現	カードを作る目的のために、ほしい形や色を伝え合っている。
主体的に学習に取り組む態度	相手のことを思いうかべながら、すすんでほしいものを伝えたりカードを渡したりしようとしている。

◎＝記録に残す評価（方法つき）。◎のない時間は指導に徹し、記録に残す評価は行わない。

単元の流れ 全5時間

時	紙面	主な活動	帯（毎時間のはじめ）	評価
1	—	形のことばと出会う（カード）・教室のかたちさがし	歌＋形カードフラッシュ	記録なし
2	—	きいてあつめて かたちハント（聞いて○をつける）	歌＋チャンツ	記録なし
3	—	What do you want? と出会う・かたちやさんロールプレイ①	チャンツ（want / please）	記録なし
4	—	かたちやさん②（材料あつめ）→カードづくり（構成まで）	チャンツ	◎ 行動観察（見取りメモ）
5	—	カードわたし会（This is for you. — Thank you.）	歌	◎ 振り返りカード点検



45分の基本形と運用メモ

45分の基本形 毎時間この流れ（先生は上から順に使うだけ）

分	やること	使う教材
0-5	あいさつ・歌・チャンツ	—（Let's Try!付属音源）
5-12	かたちカードで練習	かたちカード
12-15	めあての確認	—
15-37	主活動（シート1〜3）	活動シート1〜3
37-45	振り返り・あいさつ	ふりかえりカード

時間が足りないときは、ここを削る（優先順）

- 1. かたちハント（第2時）は1ラウンドでよい
- 2. カードのかざりつけは図工・休み時間へ（英語の時間は「集める・渡す」に使う）
- 3. わたす相手は「クラスの友だち」だけでよい（家族・先生への2枚目は宿題のおたのしみ）

準備物 印刷するだけ（準備5分）

- ☐ かたちカード（提示用1部＋お店やさん用に班数分）
- ☐ 活動シート1〜3（各時間、人数分）
- ☐ カード用の台紙（1人1枚）と色紙の形（お店やさんの「商品」。色×形で切っておく）
- ☐ ふりかえりカード（1人1枚・単元を通して同じ紙）
- ☐ ALT打ち合わせシート（ALT来校日に）

配慮が必要な子へ

- ・はさが苦手な子のために、形は切りぬき済みのものを用意（作る速さの差が英語の機会の差にならないように）
- ・わたす相手が見つけにくい子には、先生が「先生にくれる？」と最初の相手になる
- ・wantの発音がむずかしい子は「please だけ」でも買い物が成立するようにお店側へ伝えておく（ことばの完成度より、やり取りの成立）

先生へ（この単元の勘どころ）

- ・この単元の主役は最後の10分（カードわたし会）。そこから逆算して、作る時間を英語の時間から追い出すのが時数リアリズム
- ・What do you want? は「お店の人のことば」として入れると立場で覚えられる（店員＝聞く人、お客＝pleaseの人）
- ・This is for you. と渡された瞬間の照れ笑いが、この単元の評価そのもの。見取りメモは「渡すとき・もらうときに相手を見ていたか」の1点でよい
- ・色はUnit 4の再会。「前にならったことばがまた使えた」体験を言葉にして価値づける（学びがつながる感覚）